

越中一宮

<https://www.takase.or.jp>



干支むすびー。

ご自身の、また大切な方の
笑顔を想って絵馬を描き、干支の守り神の
お導きをいただきましょう。

十月・十一月の祭事

月次祭（毎月一日・十三日／九月は二日のみ）
村祭り（十月五日）

神嘗奉祝祭（十月十七日）

明治節祭（十一月三日）

神明宮例祭（十一月十三日）

七五三祝祭（十一月十五日）

新嘗祭（十二月二十三日）



「正しく伝えること」

宮司 藤井 秀嗣

大東亜戦争終結から八十年となる今年は全国的に記念の祭事・行事が行われた。

戦争体験者が減少する中で、高校生たちが戦争のことを語り継ぐ「かたりべ」になろうと、当時のことを知る人たちが神社を訪ね、取材したことが新聞の記事にあった。終戦後八十年ということから、しっかりと記憶している人がいるとすれば、現在、九十歳以上の方々だろう。それより年下の方々には、当時まだ幼く、明瞭に覚えておられないかもしれない。

「かたりべ」の使命は「当時のこと」を正しく後世に伝えること。現在、私は六十五歳となるが、自分自身、五十年前のことを覚えているかといえば、曖昧な記憶しかない。強烈な出来事は印象に残るかもしれないが、普段のことは忘れてしまっている。

「かたりべ」の取材をするとき、誰に話を聞くか、大事になってくる。当時の年齢。実際に

経験されたことか、伝え聞いたことか。それとも想像したことなのか。「かたりべ」には、実際の経験をもとに正確な内容の取材が必要だ。取材するほうも、されるほうも注意してかからなければならぬ。

そのような時、神社での取材は大いに参考になる。靖國神社や護國神社には日清戦争・日露戦争・大東亜戦争など、戦いに臨まれたご英霊が残された手紙や所縁の品々が保存されており、それらから真実を知ることができる。

どうして戦争が起きたのか。わが国はどう戦ったのか。その真相を知り、新聞や雑誌、テレビやラジオの報道は本当に正しいのか、確かめたうえで、注意して語り継がなければならぬ。

幸いわが国では、この八十年間に戦争に巻き込まれることはなかった。しかし、世界では今でも各地で戦争や紛争が続いている。さらには異常気象で大きな自然

災害も発生している。世界的に見ると平和な国に見えるわが国も実情は政治・経済ともに不安定な状況だ。国民生活はもとより、これまで百二十六代続く天皇を中心の一つの家族のように紡いできた、わが国伝統の国柄を守り続けることができるのか心配である。

このような様子のなか、伊勢の神宮では、第六十三回神宮式年遷宮の準備が始まった。二十年に一度、宮処（御敷地）を改め、御社殿・御神宝など一切を新しく造り替えることを千三百年にわたり続けている。世界でも例を見ない、かけがえのない歴史と伝統を有している。「かたりべ」は言葉の伝承であり、御遷宮はわが国の伝統文化、技術の保存継承のための一大祭典である。御遷宮が盛大に行われることは、わが国にとって大切なことであり、これをやり遂げることで、日本の美しい国柄が永遠に続いていくのである。「かたりべ」も正確な取材のもと、平和で美しい日本国を長く保つための大切な活動として、しっかりと継承していつてほしいと願っている。



夏越大祓
あわせて茅の輪神事齋行

身も心も清々しく

毎年六月と十二月に行われる「大祓」は、私達が日常生活の中で、知らず知らずのうちに犯した罪や穢れを祓う伝統的な神事です。

本殿では神職が「大麻」と「切麻」を用いてご参列の皆様を祓い、各々が穢れを移した「人形」を、茅萱で編んだ舟に託して祓いの儀式を厳修。その後、茅の輪をくぐり、残る半年間の健康と穏やかな日々を祈りました。



例祭齋行

―「浦安の舞」 平和の祈りを込めて―

秋雲が心地よく漂いはじめた九月十三日、高瀬の大神様のご神恩への感謝を込め、世の平穏と更なる繁栄を祈る、ひととせに一度の例祭を厳肅裡に齋行しました。

神社本庁よりの「幣帛」を大前に奉り、赤誠の真心を込めてご奉仕申し上げた今年の例祭は、島根県の出雲大社権宮司千家和比古氏、石川県の白山比咩神社権宮司寺本



義弘氏、福井県の氣比神宮宮司桑原宏明氏、県内神社の宮司、また西田明男・藤井秀之・岩倉恒夫各責任役員をはじめ、多くのご参列のもと、盛大且つ厳肅裡に齋行しました。

祭典では、波のない穏やかな海のように、平穏な世が末永く続くようにと祈りを込めて作られた「浦安の舞」が奉奏され、ご参列の皆様と大神様への感謝を込めて、今後益々の国の隆昌と皇室の弥栄を祈念しました。

また、地元井波を拠点に、古くより活動する女声コーラスグループ「ソット・ヴォーチェ」会員による『越中一宮高瀬神社奉賛歌』が奉唱され、例祭に美しく華を添えていただきました。



戦後八十年目の祭祀を厳修

御本殿の祭儀に続いて執り行われた功霊殿の例祭には、今年初めて、地元南砺市を中心に活躍する管弦楽演奏家グループ「アンサンブル・コウ」のメンバーによる、英霊に捧げるレクイエムが奉奏され、拝殿はひととき、国と地域を発展に導いた先達への感謝と敬いの念にあふれました。



アンサンブル・コウによる演奏

高瀬稻荷社例祭

水無月とはいえ、照りつける真夏の陽ざしのまはゆい六月三十日、末社「高瀬稻荷社」の例祭並びに商売繁盛祈願祭を齋行しました。

境内の木立ちの中、一對の狸狐に守られるように佇む稻荷社は、商売繁盛・五穀豊穡の社として崇敬を集めており、この日も、日々変化する国内外の情勢や経済の動向と向き合いながら、力強く歩みを進める稻荷講々員各位は、事業の繁栄と業務の安全を祈念して玉串を捧げました。

大神様のご加護がありますように。





安達 陽子

松本 昌子

中林 雅代

堀内 章代

飛驒山静恵

中山朱津子

床 サユリ

中衫 直美

人形感謝祭齋行

感謝を込めてお別れを

七月二十日、長い時を共に過ごした人形たちに感謝を伝え、祓いの後にお焚き上げをする「人形感謝祭」を齋行しました。

大切な人形をお持ちになった方々は、人の形に切られた和紙「人形」に今日までの感謝とお別れの言葉を書き添え、惜別の想いを込めてひとつひとつ丁寧に置き飾りました。

「人形感謝祭」は、毎年七月に齋行しています。

第二十五回 人形展 一期一会

県内外で幅広く活躍する人形作家と、草月流富山県支部 秀抱会とが織りなす、創作人形といけばなの展覧会が、本年も華やかに開催されました。
期間中、多くの皆様にご来場いただき、盛況のうちに無事、会期を終えることが出来ました。



千代拍

川原 るみ

あはたいと

笹川むもん



藤田 清枝

中嶋外志男

谷口 和美

南部 祥雲

開催期間 七月十九日～二十一日
会場 高瀬神社参集殿
総合監修 梅崎親美
写真 荒井恒雄
制作 一宮 高瀬神社

七夕祭並びに 技芸上達祈願祭

— 三昧琴の調べに酔いしれて —

日本の新しい習慣として、全国的に取り組みの始まっている「夏詣」で境内も賑わう七月七日、七夕祭に併せて、機織りの技術をもつ織姫の才にあやかり、手習い事の上達を祈る「技芸上達祈願祭」を斎行しました。

笹竹にご参拝の皆様が掲げたたくさん短冊の音や、高瀬神社



の夏の風物詩として定着した五〇個を超える風鈴の音色は、季節の祭事に彩りを添えました。

また、今年は金沢市の岩田典子さんにより三昧琴の演奏が奉納され、幻想的な響きを放つ様々な楽器の涼やかな調べに参拝の方々のはしばし夏の暑さを忘れて酔いしれていました。



岩田典子さんによる奉納演奏

祝祭日には国旗を掲げましょう

献穀田だより

除熱祭斎行

熱送り太鼓巡行

二十四節気のひとつ「大暑」を翌日に控えた「海の日」七月二十一日、農作物が夏の暑さや害虫の被害を受けず、すくすくと育つよう祈念する「除熱祭」を斎行しました。

その日の夕刻には、田畑への災いを打ち払う稲光りや雷鳴を表現して受け継がれる、氏子の練り回しによる「熱送り太鼓」の勇壮な打音が里々に響き渡りました。



氏子により圃場に御幣が立てられる

大輪あさがお展開催

笑顔の花、あさがおの絆

真夏の境内に鮮やかに彩りを添える恒例の「大輪あさがお展」が、今年も八月一日から四日にかけて開催されました。この展示会を主催する南砺あさがお会（森田光正会長）の会員の皆様の、心のこもったご案内に、「ご来場の皆さんも、真剣に耳を傾けていらっしやいました。」



歯固め石のご寮内

初宮参りにてご昇殿の赤ちゃんに、お食い初めの「歯固め石」をお頒ちしています。「丈夫な歯が生えますように」との願いを込めて行う儀式に、「この「歯固め石」をご希望の方は、どうぞご祈禱後にお申しつけ下さい。」





一粒万倍日は、古くより日本の曆にある吉日のひとつです。一粒の種から一本の稲が育ち、この稲穂に万倍のお米が稔ることになぞらえ「ほんのわずかなものが飛躍的に増える」という意味合いが込められています。この日に行うことは大きな成果が期待される為、ご祈禱を受けて成就を願うには大変ふさわしい日とされています。

一粒万倍日カレンダー

10月 1日・6日・16日・19日・28日・31日
 11月 12日・13日・24日・25日
 12月 6日・8日・9日・20日・21日

以上の方々よりご奉納を賜りました。厚く御礼申し上げます。



大麻飾り「剣」

岩田 典子殿

七月七日 七夕祭にて奉奏

【大麻飾り「剣」】
 【三味琴演奏】

野村 勇洋殿

【社殿付属回廊赤絨毯及び張替え工事】

ご奉納御礼



三味琴の奉納演奏



拝殿に向かう回廊

連載
 鎮守の杜
 のすたるじい
 第9回

高瀬神社奉納剣道大会の思い出

元砺波剣友会 事務局長 志部谷 知則



第一回大会の形奉納

高瀬神社奉納剣道大会は「越中開拓の祖神を祀る高瀬神社において、二千有余年にわたる祖先の威徳を偲び、若人の熱と力を発揮して、明日への決意を新たにす、剣の神髓に徹せんとするものである」との趣旨のもと、昭和三十八年に砺波剣友会、高瀬神社の共催により第一回大会が開催されました。境内の相撲土俵の周り、杉の大木の下でのこの大会、近年、新型コロナウイルスの流行により二年間の中断を余儀なくされましたが、令和五年には第六十回大会が無事開催されました。私は砺波剣友会の役員として、昭和四十七年から平成四年まで大会運営にかかわって来ました。担当当初には「少年マガジン」で漫画家ちばてつや氏の「おれは鉄兵」が発表されたのをはじめ、多くの剣道漫画が連載され、全国的に剣道ブームが到来。この大会でも高校・中学・スポーツ少年

団と参加チームが増え、回を追うごとに協賛団体も数を増しました。ブームの少年少女が暑中稽古、寒稽古など厳しい練習に汗し、健全な心と身体、そして技を磨きました。昭和四十八年には第十回大会を記念して紅白野試合が行われました。野試合とは、紅組、白組に別れ、面の紐に紅白の風船を付け、入り乱れつつも一対一で打ち合い、風船を割られたり、糸が切れ風船が飛んで無くなるなどしたら退場。五分間の戦いのうち、残った風船の数が多い組が勝ちとなるルール。珍しい試合形式です。初めの野試合は一人の怪我人も無く、無事の終了には胸を撫で下ろしたことを覚えていています。その頃の私は児童・生徒の皆さんの剣の指導も担当しており、こころざしという時には厳しく接する場面もありましたが、今では、もしかするとあの頃のような指導方法は通用しないのかもかもしれません。近年では競技人口も大きく数を減らしたとも聞き、半世紀という時の流れを感じざるを得ない今日この頃ではありますが、今後もこの伝統ある高瀬神社奉納剣道大会が未永く続くことを祈って参りたいと思います。

このコラムでは、氏子崇敬者の皆様よりお寄せいただいた、高瀬神社にまつわるとっておきの思い出をばしをご紹介します。



昭和48年の野試合 (写真提供 山本武夫氏)

令和7年
10月 8日・20日
11月 1日・13日・25日
12月 7日・19日・31日

令和8年
1月 12日・24日
2月 5日・17日
3月 1日・13日・25日

安産祈願
成の日カレンダー

腹帯のお祓いも行いますので、
どうぞご持参下さい。



日時 毎月1日・13日
午前10時
(1月1日・9月13日を除く)

月次祭参列のご案内
高瀬神社では、氏子崇敬者の皆様に月次祭にご参列いただき、ご家族の平安と繁栄を祈念しております。
ご参列をご希望の方は、社務所までお問い合わせ下さい。



社会に学ぶ
「14歳の挑戦」

暑さに負けず、元気に挑戦
七月七日から十日にかけて、地元、南砺市立福野中学校二年生の生徒さん四名は、職場体験学習の一環として、慣れない神社のお務めに挑戦してくれました。
期間中は、巫女さんから舞を習ったり、竹ぼうきを手にしたりと、初めての緋袴姿で、元気にご奉仕に励みました。



授与所での体験奉仕



写真提供 石田大成氏

詳しくはこちらへ

千支むすび絵馬
ご自身の千支や、大切な方の千支をお選びいただき、願いを込めてご祈願ください。
お祈り入れ下さい。
裏面には、願いごを
お書きにがり、
本殿前の繪馬掛け
にお掛け下さい。
そして最後は
「千支まじり奉経廻し」にある
歩みりの千支に納めて、
千支の学び神の御守を
お受け下さい。

高瀬神社
絵馬1枚 500円

お子様の健やかなご成長を祈って
かわいいお子様の成長を祝い、ご家族
おそろいでお参り下さい。

期 間 10月1日(水)~11月30日(日)
受付時間 午前9時~午後4時00分まで
ご祈禱料 お1人につき5,000円より

7歳(女兒) 平成31年・令和元年生まれ
5歳(男児) 令和3年生まれ
3歳(男女) 令和5年生まれ (数え年)





大国さまの処方せん ⑱

「8020運動の意義」

山本武夫歯科医院

院長 山本 武夫

皆さんは「8020（ハチマルニイマル）運動」という言葉を知っておられますか？

昭和から平成に代わる頃、医療保健福祉の取組みが成果を上げ、日本人の平均寿命が八十歳になろうとしていた時代、本当に健康で長生きするためには、美味しくものが食べられてこそ、と生活の質（QOL）の向上が叫ばれ始めておりました。昭和六十二年神奈川県で開かれたワークショップで、歯の喪失が十歯程度なら、食生活に支障が無いことが報告され、八十歳で自分の歯の喪失を十本以下にする「8010運動」が提唱されたのがきっかけで、平成元年厚生省（現厚生労働省）の成人歯科保健対策検討会の中間報告で、二十本以上の歯があれば食物を噛む

ことや、言葉の発音や義歯の維持等に良いという点から、無くさないようにしようという目標より、最低これだけ維持しようという目標の方がプラスイメージが強いという観点から「8020運動」が提唱されることになりました。

当時の状況は、歯科疾患実態調査などから、八十歳の人は四本、二十本の歯を維持している人は五十五歳と、「8004、5520」で「8020」とは大きな隔たりがありました。歯の喪失の原因の大半はむし歯と歯周病で、この2大疾患の予防を並大抵の努力ではできないと、厚生省と日本歯科医師会が、早期発見、早期治療だけでなく、0次（ゼロジ）予防と称して、疾病予防対策を訴えました。国や都道府県が

一丸となって取り組んだ結果、三十年余り経って、現在は、8020達成者が五十%という報告もあります。むし歯予防には、フッ化物、歯周病予防には、定期的な健診と歯石除去などの管理が有効と言われています。元気な八十歳を旨し、健康づくりに関心をお持ちください。

山本 武夫

山本武夫歯科医院 院長

新潟大学歯学部卒業、現在NPO法人日本フッ化物むし歯予防協会専務理事
県立となみ総合支援学校の障がい児のフッ化物歯面塗布などを永年実施、令和五年学校保健功勞により瑞宝双光章受章。
「フッ化物によるむし歯予防」をライフワークにご活躍されています。

医薬医療の神として知られる大国主大神（大国さま）のご神徳にちなんだこのコラムは、毎回、専門家の方にご寄稿いただき、読者の皆様のご生活に役立つ医療知識などを発信いたします。

しめなわ 注連縄奉納のご案内

高瀬神社注連縄奉納講では、毎年、新年に向けてご社殿の注連縄のかけ替えを実施しています。真新しい注連縄に祈りを込めて、清々しい新年をお迎え下さい。

- 1口 10,000円
- お申込み期限 令和7年10月31日
- ご奉賛者様のお名前・お願い事を記した紙を注連縄に綯い込み、ご神前に掲げます。
- お申込み・お問合せは社務所まで。電話 0763(82)0932

ご祈祷のご案内

高瀬神社のご祭神は福の神、縁結びの神、医薬医療の神として全国より広く崇敬を集める大国主大神（大国さま）です。

当神社では、交通安全（車のお祓い）・家内安全・良縁成就（縁結び）・心身健全・厄除け・病氣平癒他のご祈祷を、心を込めて毎日ご奉仕しています。お気軽に社務所までお問い合わせ下さい。

ご祈祷料 1件につき5,000円より
高瀬神社社務所 0763(82)0932

令和8年 厄年・身祝一覧

〈厄年〉数え年

	前 厄		本 厄		後 厄	
男	24歳	平成15年(未)	25歳	平成14年(午)	26歳	平成13年(巳)
	41歳	昭和61年(寅)	42歳	昭和60年(丑)	43歳	昭和59年(子)
	*60歳	昭和42年(未)	*61歳	昭和41年(午)	*62歳	昭和40年(巳)
女	18歳	平成21年(丑)	19歳	平成20年(子)	20歳	平成19年(亥)
	32歳	平成7年(亥)	33歳	平成6年(戌)	34歳	平成5年(酉)
	*36歳	平成3年(未)	*37歳	平成2年(午)	*38歳	昭和64年・平成元年(巳)

※数え年とは、満年齢に誕生日前には2歳、誕生日後は1歳を加えた年齢です。
*…この年を厄とする地域もあります。

〈身祝〉数え年

	年齢	生まれ年
還暦	61歳	昭和41年(午)
古希	70歳	昭和32年(酉)
喜寿	77歳	昭和25年(寅)
傘寿	80歳	昭和22年(亥)
米寿	88歳	昭和14年(卯)
卒寿	90歳	昭和12年(丑)
白寿	99歳	昭和3年(辰)

※男女ともに祝います。

「一年の計は元旦にあり」。高瀬神社は、福の神として広く崇敬をあつめる大國主大神（大國さま）をお祀りしています。来る新年が輝かしくなり、実りの多い一年となりますよう、心を込めて「新年初祈禱」をご奉仕いたします。



令和八年 新年初祈禱のご案内



期間 元日より節分の頃迄にご参拝下さい
受付 午前九時から
 午後四時三〇分迄
 ※元日は午前零時から
 午後六時頃迄
ご祈禱料
 一件につき五〇〇〇円より

◎特設祈禱受付入口よりお進み下さい。

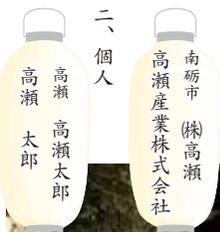
社報バックナンバーのご案内

当神社のホームページにてバックナンバーをご覧いただけます。祭典の由緒や行事の沿革など、過去の記事もご参考になさってください。
<https://www.takase.or.jp>

令和八年 初詣献灯のご案内

高瀬神社では、初詣期間の正参道を飾る提灯の奉納をご案内しています。大神様の更なるご加護と、来たる新年が尚一層輝かしい一年となりますよう祈りを捧げ、奉納願います。

- 一、献灯期間 正月七日まで
- 一、献灯料 一基二万円
- 一、申込期限 十一月三十日
- お申込みの方の屋内安全・商売繁盛他の祈願祭をご奉仕致します。
- 詳しくは社務所までお問い合わせ下さい。



大国さまの 開運招福鈴守のご紹介



【大国さまの開運招福鈴守】
 頒価 1,000円
 本体直径2cm／紐約7cm
 緑・黄・赤・白・紫の五色

神社の社殿で見かける五色旗は「陰陽五行」の理念を源流としており、魔除けや祈願成就の意味合いがあるとされています。運氣を上げて福を招く五色の鈴守をお受けになり、実りの多い日々をお過ごし下さい。

表紙写真

干支むすび絵馬。ご自身や大切な方の笑顔を描き入れて、干支の守り神のお導きをお受け下さい。

編集後記

鎌倉三代将軍源実朝は八百年前の雪の夜に落命した。甥の公暁の手によるものであったが、その影に北条氏や三浦氏の暗躍があったと

感謝うさぎからの お知らせ

わたしはご本殿前の感謝うさぎです。神様のおせびにいられて毎日とてもしあわせなんです。仲間がいるのもっと楽しいです。ご協力いただける方は社務所にお問合せ下さい。

高瀬神社社務所 0763 (82) 0932



能登半島地震及び豪雨で被災された皆様にご心からお見舞い申し上げ一日も早い復興をお祈りいたします



の説もある。

鳩居鶴巢。一見愛らしい鳩サブレにも、渋めぐらいの紅茶がちょうどいい。



(智)



人生儀礼



結婚式



年祝



安産祈願

— えん結び —



厄祓



初宮詣



合格祈願



七五三詣



初節句

感謝と祈り



ずっと祈り、祈られてきた
無事に生まれますように。
健康に育ちますように。
人生を切り開けますように。
良いご縁がありますように。
大切に育ててくれた家族、
苦業を共にしてきた友、
人生を彩るたくさんのご縁、
当たり前に過ごした日常は
かけがえない日々でした。

私たちの結婚は、感謝することから始めたい。
今日の決意を忘れず、ふたりで歩いていきます。
どうか神様、これからも
私たちを見守っていてください。



あなたの人生に 神社がある

越中一宮高瀬神社



発行日 令和七年十月一日

発行所 越中一宮 高瀬神社社務所

〒931-0252 富山県砺波市高瀬三九一

TEL 〇七六三 八二〇九三三
FAX 〇七六三 八二二三〇四

印刷所 牧印刷株式会社